

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-1009	利用形態	共同研究			
研究題目	多民族集団を対象とした腎疾患関連形質のゲノムワイド関連メタ解析			研究期間	2022年10月～2023年3月	
代表研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	責任者 氏名・所属・職	田宮 元	東北メディカル・メガバン ク機構	教授	
分担研究機関	Eurac Research(イタリア)	責任者 氏名・所属・職	Cristian Pattaro	Institute for Biomedicine	グループ リーダー	
	University of Freiburg(ドイツ)	責任者 氏名・所属・職	Anna Kottgen	Faculty of Medicine and Medical Center	教授	
研究目的と意義	<p>東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホートデータを対象とし、腎疾患およびその関連疾患(糖尿病、高血圧、痛風)に関するゲノムワイド関連解析(GWAS)を行います。また、解析結果のうち、個人情報を含まない統計情報(要約統計量)を分担研究機関に提供します。両機関は、腎疾患およびその関連疾患の研究に特化したCKDGenコンソーシアム(※)を主宰しており、複数の研究機関からそれらの統計情報を収集して統合解析を行うことにより、腎疾患およびその関連疾患に関する発症リスク予測を行うための基盤を構築します。</p> <p>※CKDGenコンソーシアムについて CKD(chronic kidney disease; 慢性腎疾患)およびその関連形質の遺伝的基盤の研究に特化した国際コンソーシアムであり、2009年に設立された。同コンソーシアムで公開したデータは、多数論文に引用され、Nature Briefing、Nature Genetics、Diabetes、BMJなどに掲載されている。</p>					
研究計画概要	<p>本研究は、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加された方のうち、検体検査データ、特定健診データ、調査票データとゲノム情報を用いてGWASを実施し、腎疾患およびその関連疾患と各遺伝的バリエーションの関連を統計学的に解析します。研究に使用する情報は地域住民コホート調査で既に収集済みの情報のみを用います。GWASにより得られた要約統計量は、国際研究団体へ提供するほか、東北メディカル・メガバンク計画の公開データベースjMorplにおいても公開します。</p>					
利用試料・情報	<p>対象: 東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査(宮城)参加者 全員 試料: なし 情報: 基本情報、調査票情報、検体検査情報、特定健康診査情報、ゲノム情報(SNPアレイ)</p>					
期待される成果	<p>腎疾患は、環境要因と遺伝的要因の相互作用により発症する多因子疾患であり、GWASによって得られる各バリエーションの要約統計量を蓄積、統合することで、発症リスク予測や、それに基づく新規治療薬開発のための研究基盤となることが期待されます。</p>					
倫理審査等の経過	2022年10月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面の配慮	<p>本研究の実施にあたっては、人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針を遵守します。 利用する試料・情報は、東北メディカル・メガバンク機構に設置されたスーパーコンピュータ内で、限られた研究者のみがアクセス可能な状況で利用します。共同研究機関へは計算された要約統計量のみが共有され、個人ごとの個別の測定結果や情報を提供することはありません。</p>					
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業					
※公開日	令和4年11月7日					